

「川口市子ども読書活動推進計画（令和3年度～令和7年度）」の
令和4年度における取り組み内容・実施状況について

- 1 目的 令和4・5年度における子ども読書活動推進に関する施策の取り組み内容・実施状況等を把握し、進捗管理及び計画の推進を図る。
- 2 対象課 市民課・子育て支援課・保健所地域保健センター・保育運営課・青少年対策室・生涯学習課・学務課・指導課・川口市立高等学校
病院総務課・科学館・文化財課・川口駅前行政センター・各支所を対象に実施
- 3 取り組み内容 実施状況（R4年度）・改善中の内容（R5年度）

1 家庭における子どもの読書活動の推進		
◎子どもと本の出会いの場の提供		
施策	担当課	R4年度の実施状況
ファーストブック	市民課	市民課・川口駅前行政センター・6支所にて 計2,979冊 配布
図書館等地域施設におけるおはなし会 わらべうたの会等の開催	中央図書館	全図書館 計447回 計2,897名参加
	生涯学習課	公民館4館、中央ふれあい館、生涯学習プラザで実施した。
子育て支援課	子育て支援課	・「わらべうたと絵本の会ピコット」によるおはなし会 計2回 計16名参加 ・読み聞かせボランティアによるおはなし会 計4回 計40名参加
	地域保健センター	感染対策のため、3歳児健康診査等での絵本の設置は中止したため、実施できなかった。
育児教室で読み聞かせの啓発 3歳児健康検診・幼児相談会場で絵本に触れる場の提供	地域保健センター	感染対策のため、3歳児健康診査等での絵本の設置は中止したため、実施できなかった。
◎読書に親しむ環境づくり		
図書館等地域施設の利用促進に関する 広報・啓発	中央図書館	イベント等実施の際は、中央図書館で集約して、広報かわぐちやツイッター、図書館だより、図書館HPにて積極的に周知・啓発を行った。
	生涯学習課	9館でチラシ、ポスター掲示、公民館だよりへの掲載等を行った。
	子育て支援課	・かわぐち子育て情報メール、広報かわぐち、子育てサポートプラザ及び子育てひろばポッポのHP等に施設の開所時間やお話会等の子育て関係の講座の情報を掲載した。 ・各施設の毎月の予定を掲載したチラシを発行し、子育て支援課窓口や子育て支援関連施設にて配布した。
どくしょノート活用	中央図書館	・50冊読んで記録した読書ノートをカウンターに持っていくともらえる認定証 「50冊読んで賞」240枚 ・読んだ50冊の中から、おすすめの本を書いたカードを図書館内で紹介 「おすすめの本紹介」114枚
◎家庭での読み聞かせ・読書の支援		
学校や図書館で年齢に応じたブックリストを配布	中央図書館	市内図書館で作成したものを学校や図書館で配布した。

2 地域における子どもの読書活動の推進			
(1) 市立図書館の取り組み			
ア 魅力ある読書環境づくり			
◎読書環境の整備と図書の充実			
本の選定収集、図書の充実 テーマ展示・ラッキーバッグ 赤ちゃん・小学生・ティーンズコーナーの充実 外国語絵本・図書の収集	中央 図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・選定基準に従い、幅広い視野で、子どもたちに必要とされる本・おすすめできる本を全図書館で選定した。 ・子どもたちの本選びの手助けとなるよう、毎月季節を意識したテーマ展示等を全図書館で実施した。 ・各コーナーの充実のため、展示とパンフレットの配布等を全図書館で実施した。 ・地域性を考慮した言語の本を新規に購入したり、同じ作品で日本語・英語・中国語訳等のある絵本を並べて展示したりした。
◎子どもが読書に親しむための行事の開催			
おはなし会・季節の行事・「子ども読書の日」に合わせた展示等	中央 図書館		全図書館で「子ども読書の日」のポスターを掲示し、TwitterやHPでも周知・啓発を図った。各図書館で特色のある展示を実施した。
◎レファレンスサービス等の充実			
職場内の研修・研究への積極的な参加	中央 図書館		県立図書館主催の児童サービス研修、ブックフェア、熊谷市子ども読書活動推進交流会、国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座に参加をした。
◎障害のある子どもたちへの支援			
障害の特性に合わせた図書の収集、点字・デジターの充実	中央 図書館		LLブックや大活字本、点字つきさわる絵本を購入した。
イ ボランティアとの協働			
◎図書館や学校で活動するボランティアへの支援			
ボランティア養成講座や研修会開催 団体貸出の実施	中央 図書館		図書館と学校で活動するボランティアの方を対象とした研修会を実施した。 (全図書館) 94回 1,538名参加 全図書館で、団体貸出を行った。
ウ 市立幼稚園・保育所への支援			
◎読書に親しむ環境の整備			
団体貸出やリサイクル絵本の提供	中央 図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に団体貸し出し(大型絵本)を利用する保育所が増えてきた。全図書館で、大型絵本を含め絵本等の団体貸出を行った。 ・リサイクル絵本の提供については、所長会にて『川口子ども読書活動推進計画』の周知も兼ねて行った。 計21施設 計127冊を提供 (絵本:110冊 紙芝居:17冊)
ブックリスト配布	中央 図書館		「ちいさい子にすすめる絵本リスト」「幼児(4~6歳)におすすめの絵本」を作成・配布を行った。

エ 小学校・中学校への支援		
◎図書の充実		
団体貸出専用の図書を充実/百科事典の貸出/ リサイクル図書の提供	中央 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ95学級 3,212冊の団体貸出を行った。 例 献立作り(家庭科) 日本語指導教室児童向けの活用 講演会のゲストについての図書等 ・リサイクル本を大貫海浜学園に提供した。 計6冊(一般図書3冊、児童図書3冊)
◎本に親しむ機会の提供		
図書館見学の受け入れ 出張おはなし会やブックトークの実施	中央 図書館	<p>【図書館見学の受け入れ(児童・生徒対象)】 市内小学校7校 (9回 計583名) 市内中学校1校 (2回 計14名) 川口市立高等学校 (1回 計7名)</p> <p>その他(教員対象) 市内小学校1校(1回 計1名)</p> <p>【ブックトーク】 市内小学校 計2校 (4回 186名) 適応指導教室 市内中学生(1回 6名)</p> <p>【出張おはなし会】 市内小学校 計2校 (6回 190名)</p> <p>【出前授業】 市内小学校 計1校 (3回 102名)</p>
「としょかんにおいでよ」・リーフレットの配布		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校1年生に向けて、ブックリスト「としょかんにおいでよ」を5月に配布した。 ・小学校の児童に読書をすすめるリーフレット「夏休みにすすめる本」を7月に作成し、市内の小学校の児童一人一人に配布した。 ・中学校の生徒に読書をすすめるリーフレット「夏休みの本棚」を7月に作成し、市内の中学校の生徒一人一人に配布した。(※「夏休みの本棚」は、市立川口高等学校の生徒にも一人一枚配布を行った)
◎学習支援		
「としょ★スタ」の作成・配布	中央 図書館	<p>子ども向けパスファインダー(調べ案内のパンフレット)として作成・配布を行った。</p> <p>新たなテーマとして、防災「もしものときにそなえよう」(12月)と「食べもののひみつ教えます」(3月)の作成・配布を行った。</p>
◎学校との連携		
教職員向け研修会の開催・連絡会、合同研修会の開催	中央 図書館	<p>指導課からの依頼を受け、5月に学校図書館司書向け研修会に参加。(学校連携事業・選書方法、ブッカーのかけ方等についての情報提供)</p>

オ 川口市立高等学校への支援		
◎幅広い分野の図書資料の提供		
市立図書館の資料の貸出 「ティーンズ通信」・リーフレットの配布	中央 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年10月にかわぐち電子図書サービスを導入した。市内在住利用者対象のサービスであるが、市外在住の生徒でも川口市立高等学校の生徒は利用できるように連携をした。 ・「ティーンズ通信」では、市立高校の図書委員の見学の様子を記事にした。「夏休みの本棚」は、生徒一人一人に配付した。
◎情報交換		
情報交換会の実施	中央 図書館	市立高校の図書委員による中央図書館見学会を実施した。また、今後の子ども主体の連携について、中央図書館職員と市立高校職員とで話し合いの場を設定し、具体的な進め方について情報交換を行った。
(2) 公民館等の社会教育施設の取り組み		
◎読書活動に関する啓発と資料の充実		
ブックリスト設置	生涯 学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している(1館) ・書籍が書棚に収まっているため設置はしていない。(1館) ・芝北文庫が併設されている。(1館) ・設置していない(28館)
図書館と連携した公民館の図書コーナーの充実	中央図 書館課	リサイクル本を各公民館に提供した。 計7施設 計361冊 (一般図書161冊、児童図書70冊、 絵本130冊、紙芝居0冊)
(3) 児童センター・放課後児童クラブの取り組み		
◎本に親しむ機会の提供と充実		
児童センター図書室の常時開放と本の貸出	青少年 対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室は常時開放し、自由に借りることができるようにした。 ・スタッフのおすすめの本の貸し出しも行った。 ・本の貸出を継続して行い、意欲的な読書につなげた。
子どもたちのリクエスト受付	青少年 対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置し、リクエストを記入してもらった。 ・子どもたちとコミュニケーションをとり、リクエストの聞き取りをした。
放課後児童クラブでの読み聞かせや 読書の時間の設置など、本に親しむ環境づくり	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間を設け、実施に努めた。
	中央 図書館	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル本の提供を行った。 ・戸塚児童センターあすばる 27冊 ・芝児童センター27冊 ・放課後児童クラブ(計29団体 499冊)
◎読書活動に関する啓発		
ブックリスト設置や新刊紹介	青少年 対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・本の対象年齢ごとに色分けシールを貼り分類した。 ・新刊購入した本は新刊コーナーで紹介・目立つ場所に置き手に取りやすい環境を作った。 ・広告や新刊情報のお知らせを図書担当職員が継続して行った。 ・乳幼児の「おすすめ絵本」の資料を用意し、絵本の選び方の貼紙をした。 ・子育て支援の講座(読んであげたいおすすめ絵本、わらべうたと絵本、おはなし会)で絵本の紹介をした。 ・新刊本やSDGsに関わる本を紹介した。

3 学校等における子どもの読書活動の推進		
(1) 市立幼稚園・保育所の取り組み		
◎本に親しむ機会の提供		
図書館の団体貸出制度の活用	保育運営課	6 施設（公設公営 3 施設、公設民営 3 施設）
図書館司書による読み聞かせ等を実施し、子どもや保護者が本に親しむきっかけをつくる	保育運営課	2 施設（公設公営 1 施設、公設民営 1 施設） ・おはなし会『おはなしにじゅうまる』の方に毎月来て頂き、発達に合った内容の絵本（手遊び・素話等）の読み聞かせを実施した。卒園児には、今まで読んだ絵本のリスト等を配布し、保護者と一緒に絵本を読む絵本選びに利用できるようにした。 ・読み聞かせをした本の展示・紹介をし、親子で絵本に親しむきっかけ作りとなるよう働きかけた。
家庭への貸出用絵本の充実	保育運営課	7 施設（公設公営 3 施設、公設民営 4 施設）
◎子どもが自由に絵本を手に取り、見ることができる環境整備		
絵本コーナーの常設	保育運営課	22 施設（公設公営 13 施設、公設民営 9 施設）
◎保護者に対する読書活動の啓発		
乳幼児期の子どもの読書活動の意義を掲載したリーフレットの配布	保育運営課	9 施設（公設公営 5 施設、公設民営 4 施設）
保護者懇談会等において保護者への読書意識の高揚を図る	保育運営課	12 施設（公設公営 8 施設、公設民営 4 施設）
◎日常保育における、読み聞かせ・おはなしの充実		
読み聞かせ、ストーリーテリングの実施	保育運営課	21 施設（公設公営 12 施設、公設民営 9 施設）
◎教職員全員で取り組む姿勢の確立		
絵本の情報交換や研修の実施。図書館司書も含めた合同研修会の実施	保育運営課	4 施設（公設公営 1 施設、公設民営 3 施設）

(2) 小学校・中学校の取り組み		
ア 市立図書館との連携事業の推進		
◎「読書による人づくり推進事業」で貸し出された図書を活用		
本の活用方法の工夫	指導課	各学校において、学校図書館・学級文庫等への配架をし、読書活動の推進を図った。
◎団体貸出制度を利用した効果的な学習活動の充実		
団体貸出制度の利用と学習活動の推進	指導課	中央図書館と連携をし、研修会において連携事業の周知をすることと、「指導の方向」にも団体貸出制度の効果的な活用について、明記した。
◎学校と市立図書館との連携及び情報交換の強化		
情報交換	指導課	日常の団体貸出時や図書に関する専門的な内容を研修等で紹介する機会を設け、連携及び情報交換の強化を図った。
図書館作成のリーフレット配布	指導課	研修において周知をした。引き続き、活用へ向けた周知を図る。
図書館司書によるブックトークや出張おはなし会の実施	指導課	研修において周知した。引き続き、活用へ向けた周知を図る。申請は、各学校による。
◎教職員の資質向上のための研修会への参加		
図書に対する意識を高め教育活動に活かす	指導課	県立図書館司書を講師として招き、調べ学習の方法や著作権に関する研修を実施し、図書を活用した学習活動の充実を図った。
イ 教職員全員で取り組む姿勢の確立		
◎ 学校図書館司書の活用		
各校に学校図書館担当職員を配置し、子どもの読書活動や調べ学習の支援をする	指導課	学校図書館司書を40名配置し、学校長・司書教諭・担任等と連携をし、読書活動の推進や調べ学習の支援の充実を図った。
◎ 司書教諭及び図書主任を中心とした校内体制の確立と研修会の実施		
教職員の読書等に対する意識を高め、教育活動に活かす	指導課	年1回司書教諭もしくは図書主任と学校図書館司書を対象とした研修と、年3回学校図書館司書を対象とした研修を実施し、学校図書館教育の充実を図った。
ウ 子どもが読書により親しむことのできる環境の整備		
◎電算図書システム導入の推進		
学校図書館の蔵書情報の管理を推進	指導課	各学校の実態に応じて、電算図書システムの導入を進めている。
◎学校図書館図書標準の達成		
司書教諭・図書主任・図書館司書が作成するブックリストの活用	指導課	各学校の実態に応じて、実施した。

エ 学校図書館の活性化と図書資料の充実		
◎効果的な選書・購入		
図書館司書が作成したブックリストを参考にしながら、子どもたちに魅力ある本を届ける仕組みづくり	指導課	計画的な購入をするよう、市立校長会・研修等において通知した。
◎PTAや地域後援会からの寄贈本等の支援・寄贈本の整備		
PTAや地域の方に支援を求め図書の充実を図る	指導課	各学校の実態に応じて、寄贈本を募る等、図書の充実を図った。
本の整備・登録等に協力・支援を要請する	指導課	各学校の実態に応じて、図書ボランティアを募り、本の整備・登録等を進めた。
オ 地域ボランティアとの連携		
◎学校応援団の活用		
ボランティア活動受入のための体制づくり	生涯学習課	各学校・地域の実態に応じて学校応援団を設置するなど、体制づくりを進めた。

(3) 川口市立高等学校の取り組み		
ア 市立図書館との連携事業の推進		
◎連携システムの構築		
幅広い図書資料の提供	川口市立 高等学校	市立図書館との連携。ラーニングコモンズの閲覧施設の整備を行った。
◎情報交換		
<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館と年1回程度情報交換会の実施 図書委員の生徒も交えた交流会の実施 	川口市立 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 参与、司書、司書教諭を交えて情報交換会を実施。 7月19日図書委員交流会を実施。施設見学とともに、あらかじめ提出した質問内容への回答、解説を交えて、市立図書館について、さらに公共図書館について深く学ぶ機会を得られた。当日の見学内容について、文化祭で展示発表し、その後もラーニングコモンズに展示し、多くの生徒に紹介できた。
<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館発行のリーフレットなどの活用、館内展示・掲示 	川口市立 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 「ティーンズ通信」、「夏休みの本棚」をラーニングコモンズ内にコーナーを作り通年掲示し、紹介されている図書を展示紹介した。 市立図書館の利用案内リーフレットを、必要な生徒に配布した。
イ 教職員全員で取り組む姿勢の確立		
◎学校図書館利用の促進のための取り組み		
生徒とともに教職員への学校図書館利用のオリエンテーションの実施と授業での活用	川口市立 高等学校	4月当初に、全日制1年生に対してはリモート（オンデマンド）で、定時制生徒には対面でオリエンテーションを実施。
◎学校図書館担当職員の活用		
学校図書館担当職員を配置し、読書活動や調べ学習の支援の充実を図る	川口市立 高等学校	司書、参与を中心に、授業への対応、レファレンスサービスの充実を図った。
ウ 図書資料の充実と環境の整備		
◎図書資料の充実		
生徒自身が資料検索できる環境の整備・市立図書館検索予約用PCのさらなる利用促進のための広報	川口市立 高等学校	市立図書館連携利用カードは全生徒が所持。資料検索PC2台のデスクトップ画面に、市立図書館利用についての案内を掲示。専用の市立図書館利用のためのPC設置。利用にあたっては参与、司書が支援を行った。
生徒からのリクエストに対応した選書	川口市立 高等学校	常時リクエストは受け付けて、選考した上で可能な限り対応した選書をした。(DVD、CDを含む)
◎図書資料案内		
<ul style="list-style-type: none"> 新着図書案内を毎月発行、全生徒・教職員に配布 教職員向けの職員室内の出張図書館の設置（教職員用図書資料活用支援） 	川口市立 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> R4年度は隔月で発行し、全生徒、職員に配布した。 教職員の教育活動のための図書資料の支援とともに、気分転換、心身の健康維持、保養のための図書も「出張図書館」として職員室内に設置をした。
◎図書委員の活動		
図書委員の活動（ライブラリーニュースなどの広報活動）	川口市立 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校のホームページにライブラリーニュースを年10回掲載。紹介した本は、図書委員会コーナーに担当者が工夫を凝らして展示。 文化祭で図書についての展示発表。

【施策のほかに工夫して関連を図った内容 及び R5 年度以降の改善中の内容】

◎患者及びその家族等の閲覧を目的として書籍を展示（病院総務課）

→R4 年度の常時、書籍の閲覧ができるように各階ダイルームおよび小児科病棟プレイルームに書籍を展示する取り組みに加え、R5 年度は、寄贈された絵本を小児科病棟に入院中の子どもに配布し、本に対する興味を高めてもらう取り組みも開始。

◎科学に関する書籍の配架・閲覧（科学館）

→R4 年度は科学に関する書籍を科学展示室内に配架し、来館者が自由に閲覧することができるスペースを設置した。コロナ禍で図書の配架休止中は科学に関する書籍の更新も休止していたが、R5 年度より書籍の更新・増冊を再開する。

◎自由研究コーナーの設置等（科学館）

→R4 年度は、自由研究コーナーや特別展開催時などの関連図書の配架・閲覧を行った。R5 年度は、令和元年度より休止していた中央図書館からの図書の借用を再開し、展示テーマに合わせた書籍を集め、閲覧できるようにする。

◎図書室の設置（文化財センター）

→文化財センターで一般の方が閲覧できる図書室を設置している。（コロナウイルス感染症対策で休止していた期間あり。また、令和6年度以降移転のため閉鎖予定。）

◎セカンドブック（子育て支援課）

→R4 年度に引き続き、R5 年度も 3 歳児健診に絵本とおすすめの本のリーフレットを配布する。

◎児童センター図書室の常時開放と本の貸出（青少年対策室）

→返却期限の過ぎた本の管理に留意し、読みたい本が読みたいときに読める環境を整えていく。

◎子どもたちのリクエスト受付（青少年対策室）

→R4 年度に引き続き、意見箱を設置し、R5 年度も予算の許す限りリクエストに答えていきたい。また本を読むことが好きな子どもたちが図書関係の役割を担えるような環境を整えていきたい。

◎ブックリスト設置や新刊紹介（青少年対策室）

→図書担当職員が、本が好きな子どもたちと「子ども会議」で話し合い、設置や新刊紹介などの工夫ができるように環境を整えたい。

◎幅広い図書資料の提供（川口市立高等学校）

→外国語を母語とする生徒（定時制）への図書の提供などを中心に、多文化共生に向けてより一層市立図書館と連携を図る。

◎市立図書館と年1回程度情報交換会の実施（川口市立高等学校）

→R5 年度も同様の内容で交流会を実施予定。職員間でさらに情報交換を行い、今年度の図書委員の取り組みであるPOPづくりなどの活動の成果を中央図書館に提供する。

◎図書委員の活動（ライブラリーニュースなどの広報活動）（川口市立高等学校）

→R5年度は、図書委員がPOPを作り、生徒の読書活動を促進する。また、R4年度からの継続の紹介動画を完成させる。

◎図書館等地域施設（公民館）におけるおはなし会・わらべうたの会等の開催（芝南公民館）

→公民館主催講座「子育て支援教室」うち1回「絵本の読み聞かせ」を行い、親子一緒に絵本の読み聞かせを行うとともに、保護者に対し絵本の読み聞かせのコツなどを教示。

→公民館主催講座「仕掛け絵本づくり」小学生4年生以上を対象に本に興味をもち、ふれあいながら楽しさを学ぶために実施。

◎図書館と連携した公民館の図書コーナーの充実（芝園公民館）

→1階ロビーに図書スペース（約1,400冊）があり、閲覧や貸し出しを行っている。大人向けの書籍が多く子供向けの書籍が少ない現状であるため、R4年度は、子供向けの書籍を増やしたいと思っていたところ、市民から子供向けの書籍4冊の提供を受けた。R5年度は、大人用の書籍を減らし、子供向けの書籍を増やし充実させたい。

◎図書館見学の受入れ（中央図書館）

→従来の来館での見学に加え、遠方のため来館が難しい学校向けにも、平等に学びの機会を提供できるよう、オンラインでの館内見学（体験型の講座含む）を実施する。

◎小・中学校向けのリサイクル本の提供（中央図書館）

→指導課主催の学校図書館司書研修会の中で、学校の実態を把握している学校図書館司書の方に選んでもらう方式で実施する。

◎ティーンズコーナーの充実（中央図書館）

→R5年度より「川口の元気夢わーく」が再開するため、体験に参加した中学生のおすすめの本をPOPと一緒に展示するなど、利用者にとって魅力的なティーンズコーナーにしていく。

◎外国語絵本 図書の収集（中央図書館）

→川口市に居住する外国人の国籍を意識した収集に努めたり、展示方法の工夫として同じ作品で日本語・英語・中国語訳等のある絵本を並べて展示したりすることで、周知・啓発を図る。

◎適応指導教室に通う子どもたちとの交流（中央図書館）

→指導課より依頼を受けて、例年5月頃に適応指導教室でのブックトーク（年1回）を行っている。R5年度は、芝園分室に加え、朝日教室での依頼も始まったことから、ブックトークをきっかけにその後も、子どもたちにとって市立図書館が身近に感じられるよう交流を図る機会を設ける。